



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
「SOTOKOTO(ソトコト)」ソトコト編集部(編集) 木楽舎



今号のおすすめ
ライブラリー
こちら!



去る7月12日(木)に、群馬県公社総合ビルで行われた群馬県河川協会の講演会に行ってきました。講師の指出 一正(さしで かずまさ)氏の「関係人口」についてのお話を伺って、早速本屋に足を運び、氏が編集長をされている月刊誌「ソトコト」を手にとってみました。

「ソトコト」とは、アフリカのバンツー族のことばで「木の下」という意味。木陰でこれからの未来について議論し知恵を出し合い、それを楽しく伝えていく。そんな思いが込められているとの事です。その言葉どおり、綺麗な写真やおしゃれな口ハスの記事で目を引きながら、これからのまちづくりや地域コミュニティについてももしっかり特集されていて、ゆるい雰囲気の中でも考えさせられる内容となっています。

今(8月5日)発売されている号は「地域のアートと音楽フェスティバル・ガイド」との事で、地元の自分たちが楽しみ、外から人を呼び込み、一緒に地域を盛り上げていく様々な事例を特集していますが、過去には移住やローカルプロジェクト、海外のまちづくりに、果てはその土地に深く関わってきたおじいちゃんやおばあちゃん達(最高齢DJ等!)を特集した号も。

木陰でリラックスしながら、でもマジメにまちづくりについて考える。秋の夜長にそんなのんびりした読書はいかがでしょうか。

※「関係人口」については2018年2月号に特集されています。

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

伊勢崎市 公園緑地課 柳澤 薫



柳澤 薫さん(左から2番目)



講座の様子

平成29年度に「魅力あるまちづくりのパートナーネットワーク講座」に参加した柳澤です。一年前、上司の勧めもあり、ファシリテーターとしての一歩を踏み出しました。期待と不安を胸に参加しましたが、参加すると「なんて有意義な講座なんだ!」と学ぶことばかりでした。

まちづくりにおけるファシリテーターとは、ワークショップのグループにおいて参加者全員の意見を上手に引き出し、議論を円滑に進めるための調整をする人のことです。講座では、ワーク

ショップの組立方法から、ファシリテーターとしての「時間管理」「否定せずに導く方法」等多くのことを学びました。また、実際に富岡市や吉岡町に繰り出し、ファシリテーターや参加者の立場に立ち、まちの魅力を探りながらワークショップを体験することができました。

この講座の魅力は、「座学」「経験者の体験談」「実技」の学ぶ過程の全てが詰まっていること、知識と経験豊富な大下先生の素晴らしい講義を受けられること、今後のまちづくりに欠かせない仲間ができること、挙げると切りがありません。また講座は、事務局の方々の力もあり、明るく活発に意見を言い合える環境で行われます。ぜひ皆さんも参加してみたいはいかがでしょうか。

マーチィの掲示板

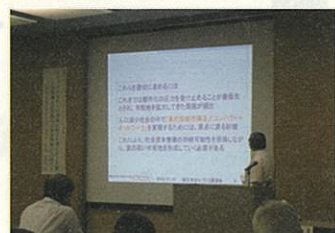
桐生市コンパクトなまちづくり講演会 「コンパクトシティの実現に向けた考え方と方策 —立地適正化計画の立案を視野に入れて—」

桐生市コンパクトシティ計画の策定に向けたコンパクトなまちづくり講演会が7月19日(木)に桐生市商工会議所で開催されました。

現在桐生市では「桐生市コンパクトシティ計画(立地適正化計画)」の策定に取り組んでおり、コンパクトシティの実現に向けた考え方と方策について長岡技術科学大学副学長の中出 文平教授による講演が行われました。

講演では、人口減少社会の中で持続可能な都市づくり・まちづくりを実現するためには、新しい制度である立地適正化計画を適切に立案実行することが不可欠であるとして、立地適正化計画がなぜ必要かということや、桐生市が考えている立地適正化計画についてお話しいただきました。講演の中で中出教授が関わった都市での取り組み事例の紹介もあり、集約型都市構造を目指す上で、それぞれの都市が抱える課題を反映した施策が重要であると実感しました。

中出教授、桐生市事務局の皆様、大変貴重なご講演ありがとうございました。



中出教授による講演



講演会の様子

